（一社）沖縄県労働基準協会
中部支部
支部長 **金 城　稔**

事業部・中部支部職員

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして沖縄労働基準監督署をはじめ、関係行政機関や関係団体及び協会本部のご指導、並びに会員の皆様のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、8 月に台風 6 号が長時間沖縄地方へ停滞したことから、ライフラインの停止が県内各地で発生し、復旧に数日かかる等の被害がもたらされました。幸い当支部では飛来物による車両の損害が出る程度で済みましたが、被害を受けられた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。さて、新型コロナが 5 類感染症へ移行したことで、観光需要の増加や各地でイベントが開催されるなど、経済活動の正常化が進みました。当支部におきましても地区安全管理推進大会や労働衛生管理推進大会を開催し、多くの皆様がご参加くださりました。参加者もコロナ禍前の水準に戻り大変喜ばしい限りでございます。一方で労働者の健康をめぐる状況については、定期健康診断結果における有所見率が沖縄県平均よりも高く不名誉な結果となっております。このような状況を踏まえ当支部では毎年 11 月にウォークラリー大会を開催しております。各事業場での健康づくりにお役立て頂ければと存じますので、今年もご参加の程よろしくお願い申し上げます。

今年の干支である甲辰（きのえたつ）は成功につながるための努力が種子の内側でどんどん育つ年だとされ、コツコツ努力を重ね続ければ、大きな成果が期待できるという意味が込められております。当支部といたしましても、関係行政機関と連係し職員一丸となり取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故、無災害を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

「ご安全に！」

沖縄労働基準監督署
署　長 **比嘉　信和**

沖縄労働基準監督署職員

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、労働基準監督署の労働行政の運営につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行がようやく収まり、社会全体に活気が戻ってきました。産業界では、コロナ禍で人員整理を含む多くの離職者が発生したこと等により人手不足や労働者の偏在化が増長しましたが、状勢に即した対策を講じて新たな働き方を進めている企業も多くみられるようになりました。また、企業の持続的な賃金引上げを促す「価格転嫁」を社会全体が容認する風潮に変わったように思います。他方、労働災害発生状況は、休業 4 日以上の死傷災害が過去最多となり、当署管内における重大災害の頻発は憂慮すべき現象といわなければなりません。労働者の安全と健康に高い公共的価値があることは大衆論理であり、一致協力して、その確保や労働災害をできるかぎりなくしていくことが求められます。

本年は、「第 14 次労働災害防止計画」の 2 年目であり、計画を強力に推進するため、監督署全署員専心努力してまいります。また、長時間労働の改善や種々の働き方に即した労働条件確保などほかにも課題はありますが、着実に諸々施策に取り組んでまいりますので、本年も労働基準行政への相変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会と会員の皆様にとりまして、今年が明るい年になりますよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。